



2024年度第1四半期 決算説明資料

2024年7月31日

旭化成株式会社

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

2024年度 第1四半期実績

- ・ **前年同期比で全セグメントともに増益。**電子機器、半導体などの市場の回復や、石化市況の改善を背景とした「マテリアル」の大幅な改善に加え、「住宅」および「ヘルスケア」も引き続き堅調に成長

2024年度 上期予想・方針

- ・ **前年同期比で全セグメントともに増益を見込む。**電子機器、半導体などの市場の回復や、石化市況の改善を背景とした「マテリアル」の業績改善や、「住宅」および「ヘルスケア」の堅調な成長を見込む
- ・ **前回予想（2024年5月発表）比で利益を上方修正。**「マテリアル」と「ヘルスケア」において想定以上の業績を見込む。なお、今回は上期予想のみ見直しており、通期予想は第2四半期の決算発表にて適宜見直す
- ・ 先行き不透明な経営環境は継続するため、引き続き、原燃料コストを踏まえた適正なプライシング、原価低減や販管費削減など収益体質の強化に取り組む
- ・ 基盤マテリアル事業など石油化学チェーン関連事業の構造転換の検討を加速させるとともに、投資の着実な刈り取りや採算性の精査を徹底した上で、成長牽引事業への投資を進める

株主還元

- ・ 2024年度の間配当は、株主還元方針を踏まえ、18円を予想（変更なし）

中計の 取り組みの進捗

- ・ スウェーデン製薬企業Calliditas Therapeutics ABを株式公開買付けにより買収することを決定
- ・ 旭化成のDXの取り組みが評価され、4年連続で「DX銘柄」に選定

1. 2024年度第1四半期実績

2024年度第1四半期実績（連結）

売上高は、電子機器、半導体などの市場の回復や、石化市況の改善を背景とした「マテリアル」の大幅な改善、「住宅」および「ヘルスケア」の堅調な推移に加え、円安の効果もあり、全セグメントともに前年同期比で増収

営業利益も、前年同期比で全セグメントともに増益。「マテリアル」の大幅な改善に加え、「住宅」および「ヘルスケア」も各事業が堅調に推移

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増益などにより、前年同期比で増益

		2023年度1Q	2024年度1Q	増減額	増減率
売上高	(億円)	6,507	7,359	852	13.1%
営業利益	(億円)	218	499	281	128.9%
売上高営業利益率		3.3%	6.8%		
のれん償却前営業利益	(億円)	288	578	290	100.6%
EBITDA	(億円)	655	941	287	43.8%
売上高EBITDA率		10.1%	12.8%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	(億円)	96	341	245	255.5%

相場平均為替レート（USドル）

137円

156円

相場平均為替レート（ユーロ）

149円

168円

国産ナフサ価格

67,500円／kl

79,000円／kl

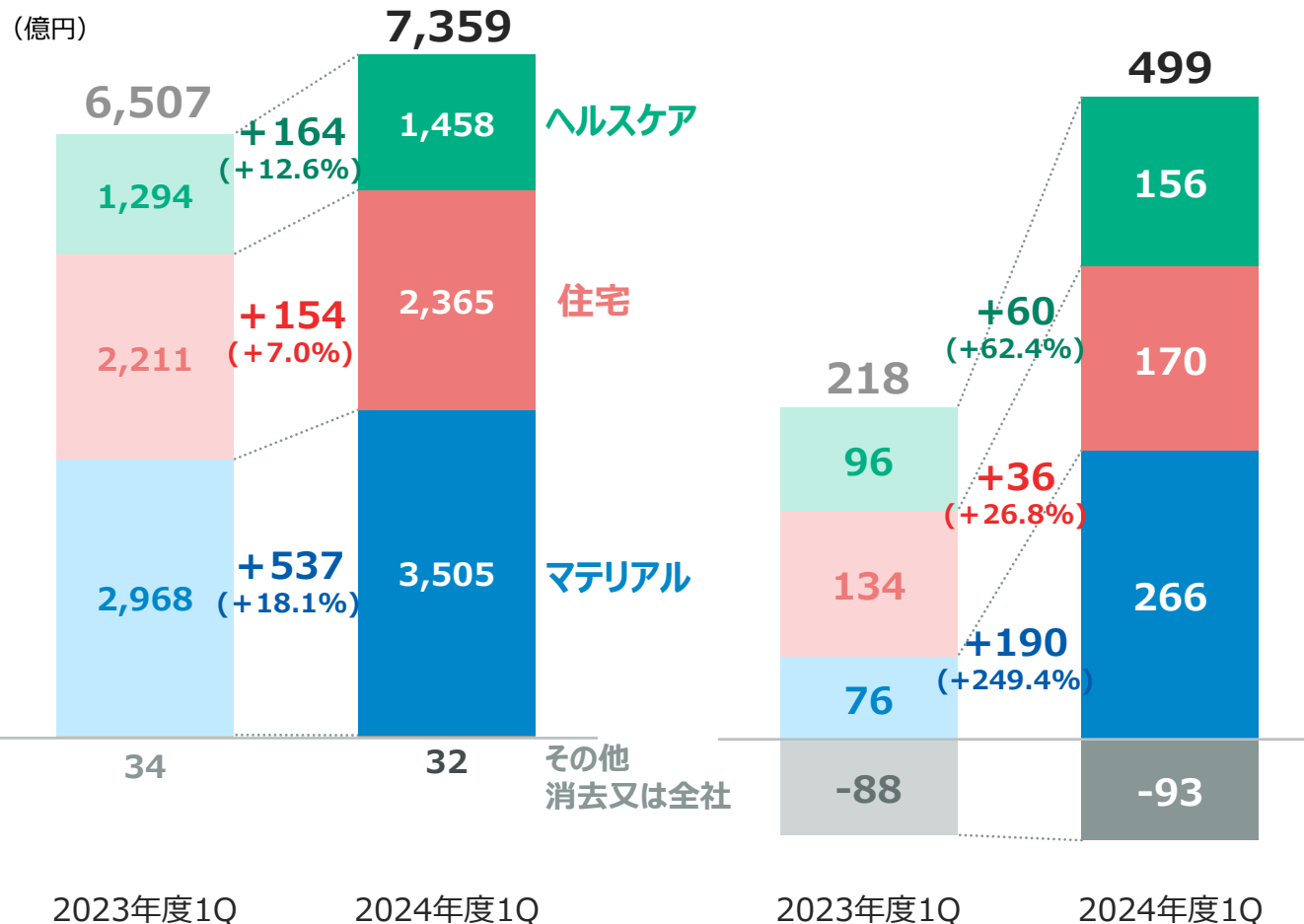
2024年度第1四半期実績（セグメント別）

売上高 前年同期比

+852億円（+13.1%）

営業利益 前年同期比

+281億円（+128.9%）



ヘルスケア

増収・増益

- ・ **医薬・医療事業+23億円**：主力製品の伸長、医療事業における円安影響などにより、増益
- ・ **クリティカルケア事業+37億円**：除細動器の販売価格上昇、LifeVestの数量増加、円安影響などにより、増益

住宅

増収・増益

- ・ **住宅事業+39億円**：建築請負部門で数量が減少したが、不動産部門や海外事業部門が伸長し、増益

マテリアル

増収・増益

- ・ **環境ソリューション事業+106億円**：基盤マテリアル事業における交易条件の改善や石化市況の上昇による在庫受払差の影響などにより、増益
- ・ **モビリティ&インダストリアル事業+26億円**：自動車内装材事業の販売価格の上昇や、エンジニアリング樹脂の販売量増加および交易条件の改善により、増益
- ・ **ライフイノベーション事業+78億円**：主力製品の販売が堅調に推移したことや交易条件の改善により、増益

連結損益計算書

前年同期比の
主な増減要因

販管費

円安により海外子会社の販管費の換算額が増加したことなどにより、増加

営業外損益

円安により外貨預金の為替差益が発生したことや受取利息が増加したことなどにより、改善

特別損益

政策保有株式の売却益を計上した一方、事業構造改善費用を計上したことなどにより、悪化

(億円)

	2023年度1Q		2024年度1Q		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	6,507	100.0%	7,359	100.0%	852	13.1%
売上原価	4,643	71.3%	5,043	68.5%	400	8.6%
売上総利益	1,864	28.7%	2,316	31.5%	452	24.2%
販管費	1,647	25.3%	1,817	24.7%	171	10.4%
営業利益	218	3.3%	499	6.8%	281	128.9%
営業外損益	-4		38		43	
(内、持分法投資損益)	(-3)		(10)		(13)	
経常利益	214	3.3%	537	7.3%	323	151.3%
特別損益	-24		-43		-19	
税前利益	190	2.9%	494	6.7%	304	160.2%
法人税等	-88		-144		-56	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-6		-9		-3	
親会社株主に帰属する四半期純利益	96	1.5%	341	4.6%	245	255.5%

政策保有株式の売却益を計上した一方、生産設備の統廃合に伴い事業構造改善費用を計上したことなどにより、悪化

	(億円)		
	2023年度1Q	2024年度1Q	増減額
投資有価証券売却益	7	58	51
固定資産売却益	1	2	1
受取保険金	-	12	12
特別利益	8	73	64
投資有価証券評価損	-	6	6
固定資産処分損	13	16	3
減損損失	0	3	3
製品補償損失	-	18	18
事業構造改善費用	19	74	54
特別損失	32	116	84
特別損益	-24	-43	-19

連結貸借対照表

総資産	海外子会社の好調な業績に伴い現預金が増加したことに加え、円安に伴い海外子会社の資産が増加
負債	有利子負債の増加に加え、円安に伴い海外子会社の負債が増加
純資産	円安に伴いその他の包括利益累計額が増加

	2024/3月末	2024/6月末	増減額		2024/3月末	2024/6月末	増減額
流動資産	16,500	17,247	747	負債	18,141	18,609	468
現金及び預金	3,381	3,641	260	流動負債	9,146	10,214	1,069
受取手形、売掛金及び契約資産	4,859	5,035	175	支払手形及び買掛金	2,133	2,212	79
棚卸資産	6,788	7,082	293	その他	7,013	8,002	989
その他	1,472	1,490	18	固定負債	8,995	8,394	-601
固定資産	20,127	20,822	695	純資産	18,486	19,460	974
有形固定資産	8,533	8,787	254	株主資本	13,119	13,208	89
無形固定資産	7,547	7,789	242	資本金	1,034	1,034	-
投資その他の資産	4,047	4,246	199	資本剰余金	803	804	1
				利益剰余金	11,355	11,444	88
				自己株式	-73	-73	-0
				その他の包括利益累計額	5,015	5,885	870
資産合計	36,627	38,069	1,442	非支配株主持分	352	367	15
				負債純資産合計	36,627	38,069	1,442
のれん残高	3,607	3,756	149				
有利子負債 ^{*1}	9,170	9,711	541				
D／Eレシオ	0.51	0.51	0.00				

*1 リース債務除く

連結キャッシュ・フロー計算書

営業CF	税金等調整前四半期純利益が増加したことなどからキャッシュ・インが増加
投資CF	政策保有株式の売却の一方、Calliditas買収に向けた同社株式事前買付け取得支出によりキャッシュ・アウトが増加
財務CF	資金調達額の減少などによりキャッシュ・インが減少

	2023年度1Q	2024年度1Q	増減額
(億円)			
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	302	416	114
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-551	-568	-17
設備投資による支出	-540	-464	76
M&A関連による支出	-	-	-
その他	-11	-104	-93
c. フリー・キャッシュ・フロー (a + b)	-249	-153	97
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	648	226	-421
e. 現金及び現金同等物に係る換算差額	168	185	17
現金及び現金同等物の増減額 (c + d + e)	566	259	-307

2. 2024年度上期予想

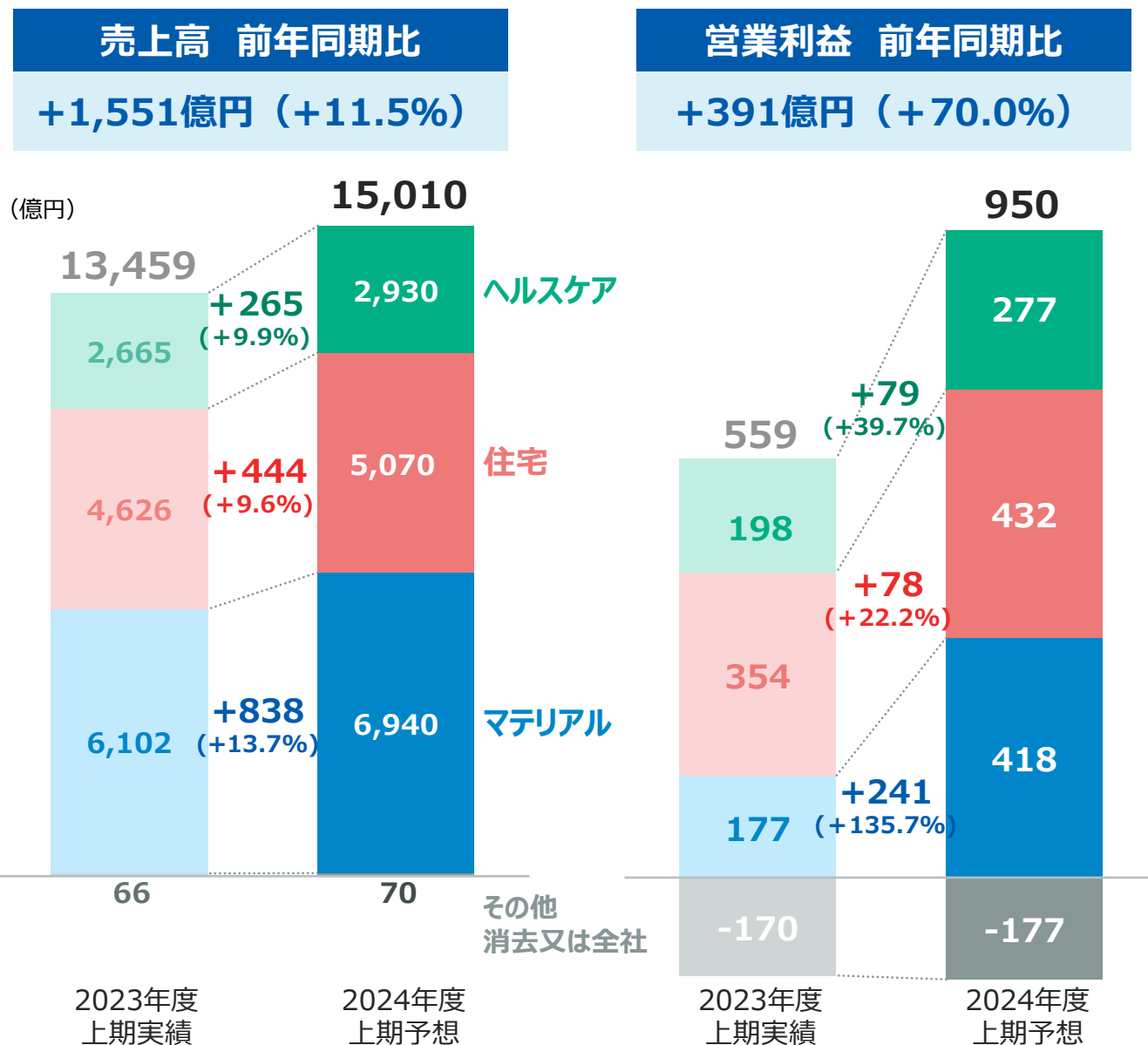
2024年度上期予想（連結）

電子機器、半導体などの市場の回復や、石化市況の改善を背景とした「マテリアル」の業績改善、「住宅」および「ヘルスケア」の堅調な成長により、全セグメントにおいて増収・増益を見込む。前回予想（2024年5月発表）比では、「マテリアル」および「ヘルスケア」を上方修正

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増益などにより前年同期比で増益、前回予想比でも上方修正

		2023年度		2023年度 上期	2024年度		2024年度 上期予想	上期 前年同期比		2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
		1Q	2Q		1Q	2Q予想		増減額	増減率	
売上高	(億円)	6,507	6,952	13,459	7,359	7,651	15,010	1,551	11.5%	14,280
営業利益	(億円)	218	341	559	499	451	950	391	70.0%	800
売上高営業利益率		3.3%	4.9%	4.2%	6.8%	5.9%	6.3%			5.6%
のれん償却前営業利益	(億円)	288	415	703	578	532	1,110	407	57.8%	943
EBITDA	(億円)	655	792	1,447	941	889	1,830	383	26.5%	1,665
売上高EBITDA率		10.1%	11.4%	10.7%	12.8%	11.6%	12.2%			11.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円)	96	213	308	341	189	530	222	71.8%	400
相場平均為替レート (USD/円)		137円	145円	141円	156円	150円	153円			145円
相場平均為替レート (ユーロ/円)		149円	157円	153円	168円	160円	164円			155円
国産ナフサ価格		67,500円/kg	63,600円/kg	65,600円/kg	79,000円/kg	76,000円/kg	77,500円/kg			74,000円/kg
1株当たり配当金		-	-	18円	-	-	18円			18円
							(予想)			(予想)

2024年度上期予想（セグメント別：前年同期比）



ヘルスケア

増収・増益

- ・ **医薬・医療事業+21億円**：Calliditas買収に伴う費用増加の一方で、主力製品の伸長と、医療事業の円安影響により、増益
- ・ **クリティカルケア事業+58億円**：除細動器の販売価格上昇、LifeVestの数量増加、円安影響などにより、増益

住宅

増収・増益

- ・ **住宅事業+87億円**：不動産部門や海外事業部門が好調に推移し、増益

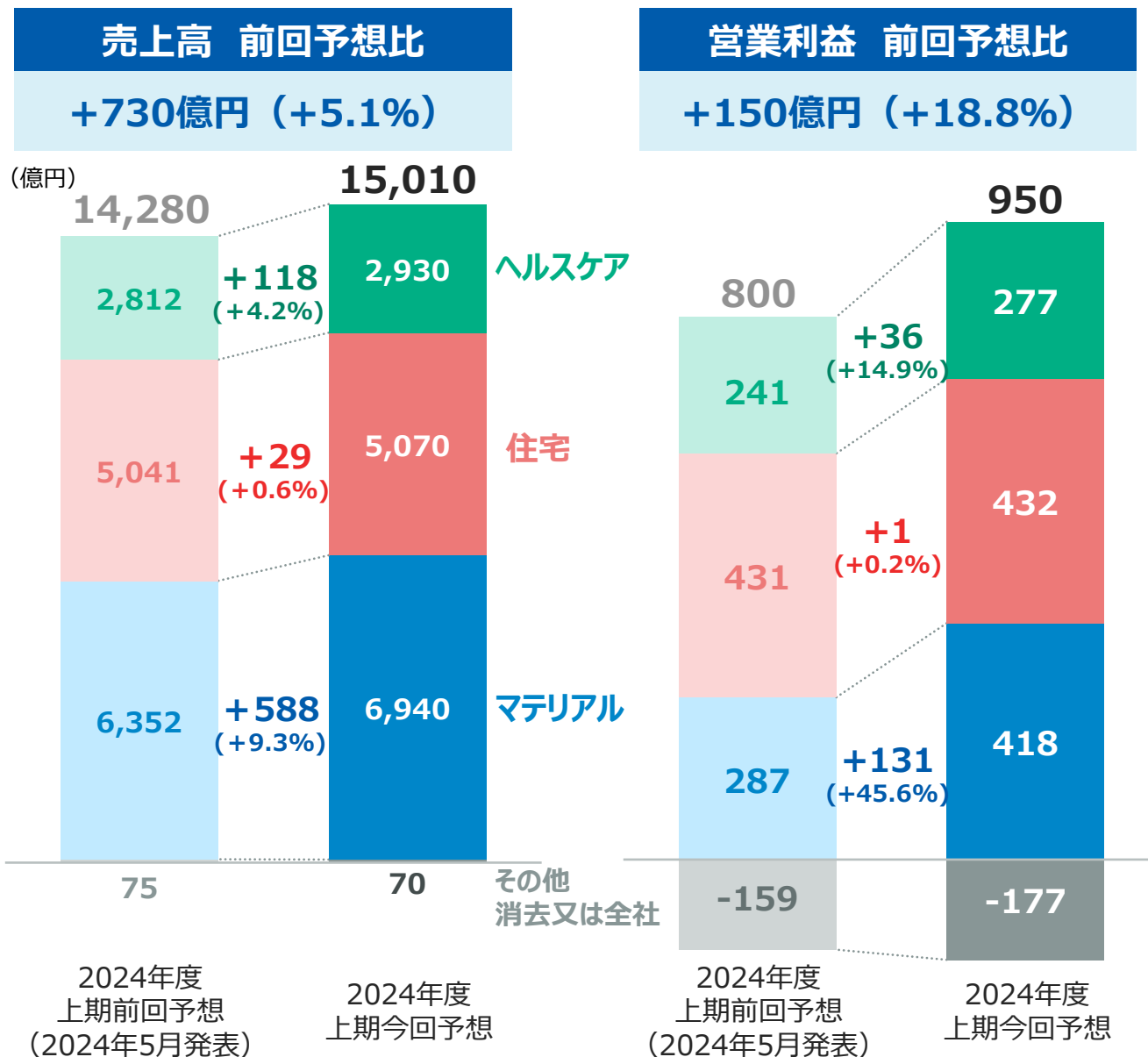
マテリアル

増収・増益

- ・ **環境ソリューション事業+157億円**：基盤マテリアル事業における交易条件の改善や石化市況の上昇による在庫受払差の影響などにより、増益
- ・ **モビリティ&インダストリアル事業+28億円**：自動車内装材事業の販売価格の上昇や、エンジニアリング樹脂の販売量増加および交易条件の改善により、増益
- ・ **ライフイノベーション事業+91億円**：主力製品の販売が堅調に推移したことや交易条件の改善により、増益

2024年度上期予想（セグメント別：前回（5月発表） 予想比）

AsahiKASEI



ヘルスケア 売上高・営業利益 上方修正

- クリティカルケア事業+36億円：販管費の減少や円安影響などにより、利益を上方修正

住宅 前回予想並み

- ほぼ想定通りの進捗

マテリアル 売上高・営業利益 上方修正

- 環境ソリューション事業+77億円：基盤マテリアル事業において石化市況の上昇による在庫受払差が想定を上回ることや固定費の減少、円安影響などにより、利益を上方修正
- モビリティ&インダストリアル事業+9億円：自動車内装材の销售量増加や円安影響などにより、利益を上方修正
- ライフイノベーション事業+59億円：主力製品の販売が好調に推移したことや円安影響により、利益を上方修正

3. セグメント別詳細

2024年度より、従来「モビリティ&インダストリアル事業」に含めていた一部事業を、「環境ソリューション事業」へ移管している。それに伴い、本ページ以降〈組替後〉と表示している箇所では、2023年度の実績について開示区分変更を反映した数値を記載している

売上高	2023年度 <組替前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	2,968	3,134	3,289	3,226
環境ソリューション事業	1,146	1,201	1,328	1,274
うち 基盤マテリアル事業	662	721	808	744
モビリティ&インダストリアル事業	918	960	960	980
ライフイノベーション事業	903	973	1,000	972
うち デジタルソリューション事業	294	317	331	343
マテリアル共通	2	0	0	0



2023年度 <組替後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
2,968	3,134	3,289	3,226
1,162	1,218	1,348	1,292
662	721	808	744
901	943	941	962
903	973	1,000	972
294	317	331	343
2	0	0	0

営業利益	2023年度 <組替前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	76	101	130	118
環境ソリューション事業	-7	-11	20	16
うち 基盤マテリアル事業	-51	-29	-3	0
モビリティ&インダストリアル事業	30	39	16	45
ライフイノベーション事業	45	72	98	69
うち デジタルソリューション事業	20	33	40	33
マテリアル共通	8	2	-4	-12

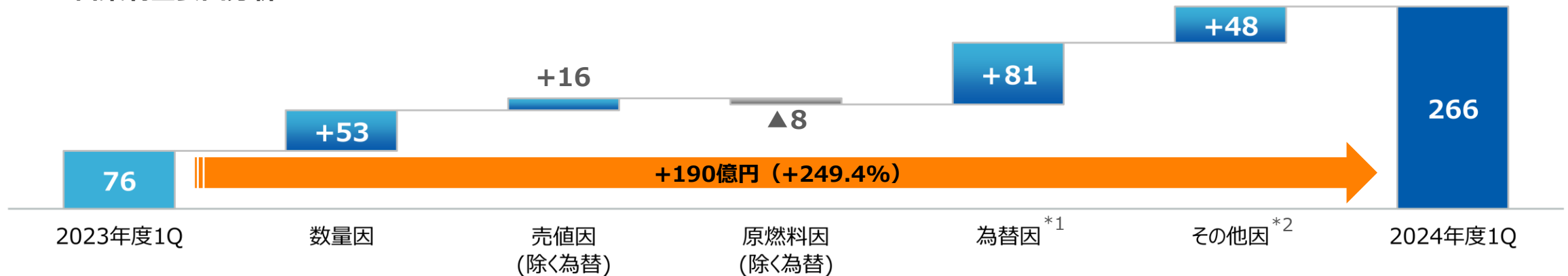


2023年度 <組替後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
76	101	130	118
-7	-9	22	17
-51	-29	-3	0
30	37	14	45
45	72	98	69
20	33	40	33
8	2	-4	-12

ライフイノベーション事業を中心とした需要の回復による数量因や、円安による為替因、石化市況の上昇に伴う在庫受払差の影響による
その他因のプラスにより、増益

■ 営業利益要因分析

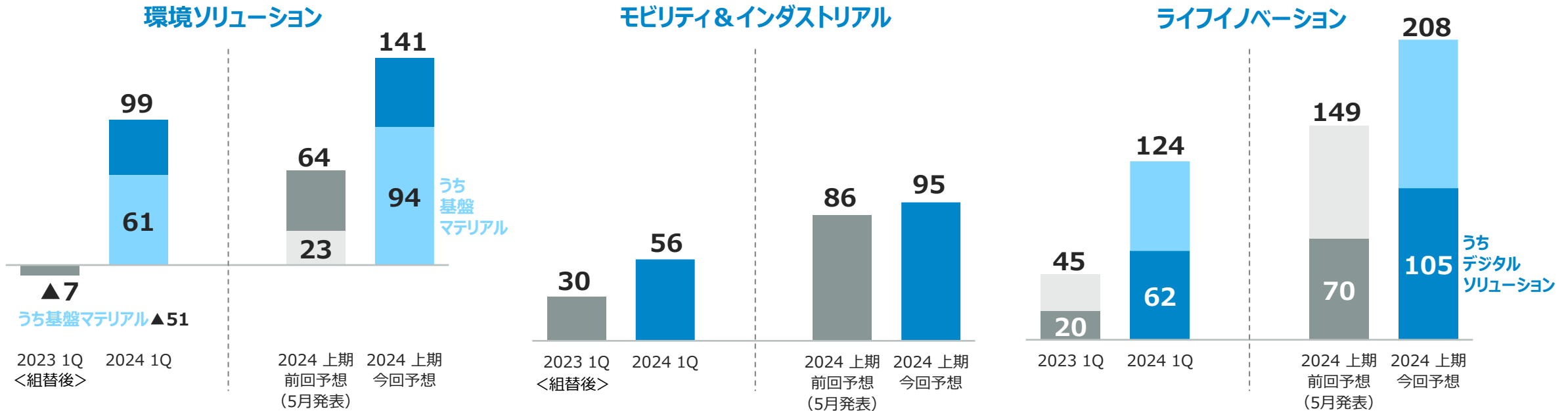
(億円)



	売上高				営業利益								
	2023年度1Q <組替後>	2024年度1Q	増減額	増減率	2023年度1Q <組替後>	2024年度1Q	増減額	増減率	内訳				
									数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因 ^{*1}	その他因 ^{*2}
マテリアルセグメント	2,968	3,505	537	18.1%	76	266	190	249.4%	53	16	-8	81	48
環境ソリューション事業	1,162	1,469	307	26.4%	-7	99	106	-	8	-1	-12	36	75 ^{*3}
うち 基盤マテリアル事業	662	880	218	32.9%	-51	61	112	-					
モビリティ&インダストリアル事業	901	1,042	141	15.6%	30	56	26	85.5%	-0	16	-1	19	-9
ライフイノベーション事業	903	994	92	10.1%	45	124	78	173.6%	46	0	11	26	-5
うち デジタルソリューション事業	294	357	63	21.6%	20	62	42	214.2%					
マテリアル共通	2	-0	-2	-	8	-12	-20	-	-	-	-6 ^{*3}	-	-14

*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、在庫影響等 *3 環境ソリューションの営業利益の「その他因」には社内売値差が含まれているが、マテリアル全体としては「原燃料因」に含まれるものであるため、要因分析の補正として、相当する額をマテリアル共通の「原燃料因」と「その他因」にそれぞれプラスとマイナスで含めて表示している

■ 営業利益（億円）



主な事業		2024年度1Q vs 2023年度1Q (YoY)		2024年度上期 今回予想 vs 前回予想 (5月発表)	
環境ソリューション	セパレータ	↘	販売量が増加した一方、前期の操業度悪化による在庫影響や販管費の増加などにより、減益	↘	EV需要減速の影響を受けLIB用セパレータの販売量が想定を下回ることや、操業度の調整などにより、下方修正
	基盤マテリアル	↗	交易条件の改善や、石化市況の上昇による在庫受払差の影響などにより、増益	↗	石化市況の上昇による在庫受払差が想定を上回ることや固定費の減少、円安影響により、上方修正
モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	↗	一過性要因で販売が集中した前年同期比では販売量は減少したものの、価格転嫁や円安により交易条件が改善し、増益	↗	北米や中国向けの販売や、円安による交易条件の改善が想定を上回り、上方修正
	エンジニアリング樹脂	↗	太陽電池用途などの販売量が増加したことに加え、円安による交易条件が改善したことなどにより、増益	↗	自動車用途を中心に販売量が想定を下回るが、円安による交易条件の改善により、前回予想並み
ライフイノベーション	デジタルソリューション	↗	AIサーバーやハイエンドスマホ向け電子材料、カメラモジュール向け電子部品が堅調に推移したことに加え、円安による交易条件改善もあり、増益	↗	主力製品の販売が想定を上回ることや、円安による交易条件の改善により、上方修正

(億円)

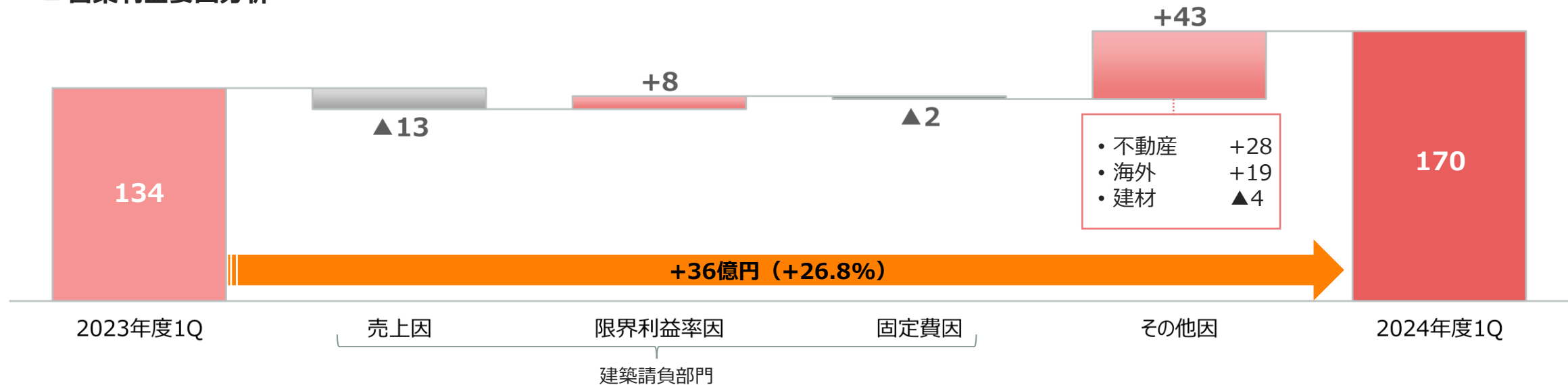
売上高	<組替後>		2023年度 上期			2024年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q 予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
マテリアルセグメント	2,968	3,134	6,102	3,505	3,435	6,940	537	18.1%	838	13.7%	6,352
環境ソリューション事業	1,162	1,218	2,380	1,469	1,391	2,860	307	26.4%	480	20.1%	2,518
うち 基盤マテリアル事業	662	721	1,383	880	860	1,740	218	32.9%	357	25.8%	1,519
モビリティ&インダストリアル事業	901	943	1,844	1,042	1,048	2,090	141	15.6%	246	13.3%	1,950
ライフイノベーション事業	903	973	1,875	994	996	1,990	92	10.1%	115	6.1%	1,884
うち デジタルソリューション事業	294	317	610	357	353	710	63	21.6%	100	16.3%	654
マテリアル共通	2	0	3	-0	0	-	-2	-	-3	-	-

営業利益	<組替後>		2023年度 上期			2024年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q 予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
マテリアルセグメント	76	101	177	266	152	418	190	249.4%	241	135.7%	287
環境ソリューション事業	-7	-9	-16	99	42	141	106	-	157	-	64
うち 基盤マテリアル事業	-51	-29	-81	61	33	94	112	-	175	-	23
モビリティ&インダストリアル事業	30	37	67	56	39	95	26	85.5%	28	41.7%	86
ライフイノベーション事業	45	72	117	124	84	208	78	173.6%	91	77.8%	149
うち デジタルソリューション事業	20	33	53	62	43	105	42	214.2%	52	99.8%	70
マテリアル共通	8	2	10	-12	-14	-26	-20	-	-36	-	-12

建築請負部門において、数量減少による売上因のマイナスを平均単価の上昇でカバーしきれなかった一方で、不動産部門や海外事業部門が順調に推移したことにより、増益

■ 営業利益要因分析

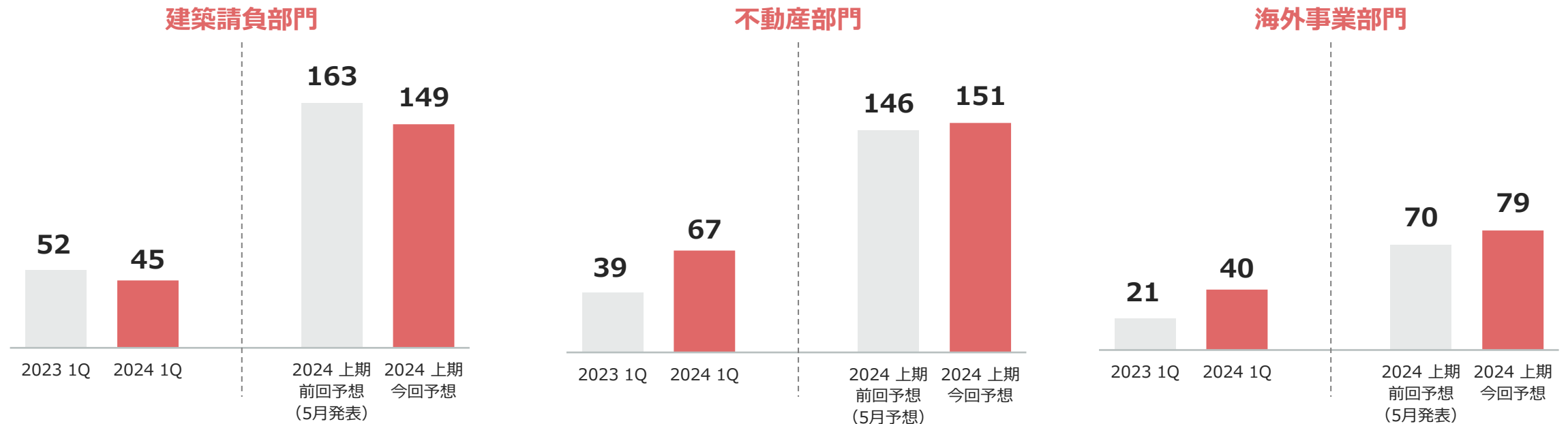
(億円)



	売上高				営業利益							
	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減額	増減率	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減額	増減率	内訳			
									建築請負部門			その他因
									売上因	限界利益率因	固定費因	
住宅セグメント	2,211	2,365	154	7.0%	134	170	36	26.8%	-13	8	-2	43
住宅事業	2,105	2,264	159	7.6%	125	165	39	31.5%	-13	8	-2	46 ^{*1}
建材事業	106	101	-5	-4.3%	9	5	-4	-40.4%	-	-	-	-4

*1 不動産、リフォーム、海外、その他

■ 営業利益（億円）



主な事業		2024年度1Q vs 2023年度1Q（YoY）		2024年度上期 今回予想 vs 前回予想（5月発表）	
住宅	建築請負部門		物件の大型化・高付加価値化による平均単価の上昇が進んだが、数量減少により、減益		工事の進捗が想定を下回り、下方修正
	不動産部門		賃貸管理事業の管理戸数が堅調に増加した他、分譲マンションの販売戸数増加により、増益		販管費減少により、上方修正
	海外事業部門		円安に加えて、北米事業は住宅需要が落ち込んだ前年同期に対して数量が回復し、豪州事業は価格転嫁が進んだため、増益		円安により、上方修正

(億円)

売上高	1Q	2Q	2023年度 上期	1Q	2Q予想	2024年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
							増減額	増減率	増減額	増減率	
住宅セグメント	2,211	2,416	4,626	2,365	2,705	5,070	154	7.0%	444	9.6%	5,041
住宅事業	2,105	2,302	4,406	2,264	2,596	4,860	159	7.6%	454	10.3%	4,820
建築請負部門	942	1,014	1,956	911	1,059	1,970	-31	-3.3%	14	0.7%	2,055
不動産部門	403	468	871	497	653	1,150	94	23.3%	279	32.1%	1,150
リフォーム部門	126	153	279	126	159	285	0	0.2%	6	2.0%	285
海外事業部門	631	663	1,294	722	728	1,450	91	14.5%	156	12.0%	1,320
その他	2	4	6	8	-3	5	5	216.4%	-1	-18.7%	10
建材事業	106	114	220	101	109	210	-5	-4.3%	-10	-4.5%	221

営業利益	1Q	2Q	2023年度 上期	1Q	2Q予想	2024年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
							増減額	増減率	増減額	増減率	
住宅セグメント	134	219	354	170	262	432	36	26.8%	78	22.2%	431
住宅事業	125	202	327	165	249	414	39	31.5%	87	26.5%	411
建築請負部門	52	97	149	45	104	149	-7	-13.0%	0	0.0%	163
不動産部門	39	48	87	67	84	151	28	72.3%	64	73.1%	146
リフォーム部門	11	21	32	12	21	33	0	2.7%	0	1.1%	31
海外事業部門	21	30	51	40	39	79	19	90.2%	28	55.5%	70
その他	2	5	8	1	1	2	-1	-62.6%	-6	-77.0%	2
建材事業	9	17	26	5	13	18	-4	-40.4%	-8	-31.3%	20

建築請負部門の1Q受注高は、新たなマーケティング戦略への過渡期だった前年同期に対し、+15.0%となった。上期は+10.0%を目指す

近年の集合住宅の好調な業績を受け、不動産部門における賃貸管理事業が着実に拡大

(単位：億円、() 内は対前年同期比)

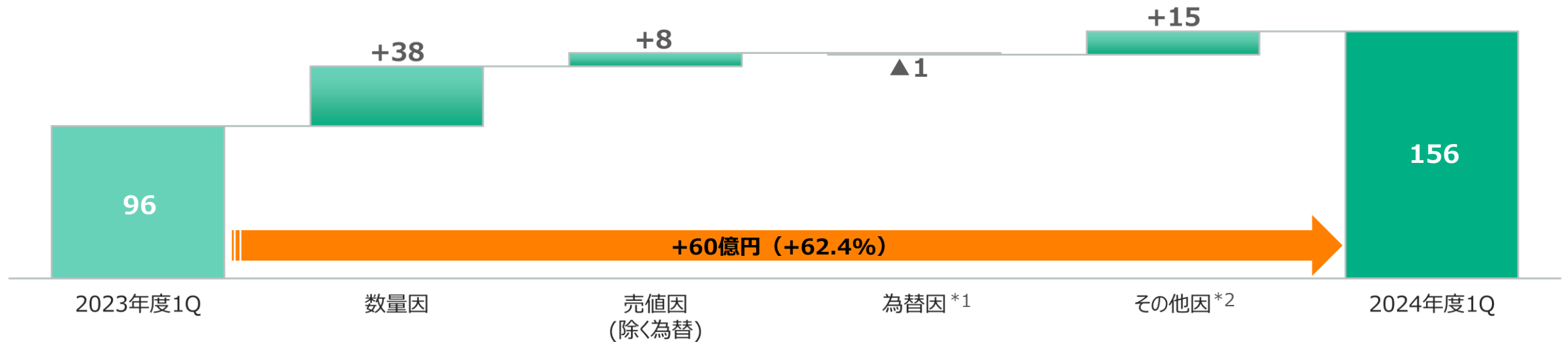
		建築請負部門						不動産部門		
		受注		売上高				売上高 ^{*1}		
		受注高	受注残	戸建系	集合系	他	合計	開発	賃貸・仲介	合計
2022年度	上期	1,912 (-7.3%)	5,481	1,309	555	102	1,966	117	694	811
	下期	1,644 (-7.6%)	5,030	1,349	655	137	2,141	352	732	1,084
	通期	3,556 (-7.5%)		2,658	1,210	239	4,107	469	1,426	1,895
2023年度	1Q	772 (-16.4%)	5,090	551	324	66	942	36	367	403
	2Q	1,093 (10.7%)	5,250	586	369	59	1,014	91	377	468
	上期	1,865 (-2.4%)		1,137	693	125	1,956	127	744	871
	下期	2,074 (26.2%)	5,204	1,166	740	147	2,054	342	804	1,145
	通期	3,939 (10.8%)		2,303	1,433	273	4,010	468	1,548	2,016
2024年度	1Q	888 (15.0%)	5,426	501	328	82	911	109	388	497
	2Q予想	1,164 (6.5%)	5,685				1,059	231	422	653
	上期予想	2,051 (10.0%)					1,970	340	810	1,150

*1 不動産部門の売上高の内訳について、「開発事業」に分譲マンション事業などの売上高、「賃貸・仲介事業」に賃貸事業と仲介事業の売上高の合計値を表示するように変更している（2022年度の売上高を遡って修正）

主力製品の伸長による数量因や為替換算差によるその他因のプラスがあったことに加え、クリティカルケア事業において、除細動器の販売価格の上昇による売値因のプラスがあり、増益

■ 営業利益要因分析

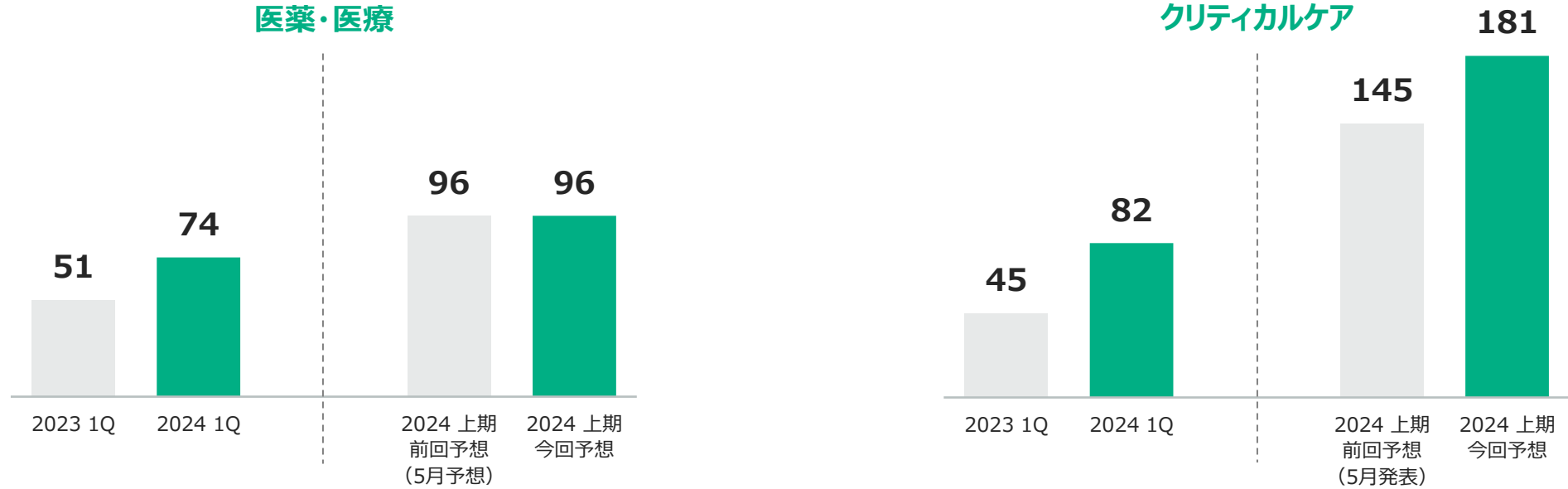
(億円)



	売上高				営業利益							
	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減額	増減率	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減額	増減率	内訳			
									数量因	売値因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
ヘルスケアセグメント	1,294	1,458	164	12.6%	96	156	60	62.4%	38	8	-1	15
医薬・医療事業	511	563	52	10.3%	51	74	23	44.1%	30	-15	1	7
クリティカルケア事業	783	894	111	14.2%	45	82	37	83.4%	8	24	-2	8

*1 売値因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、ライセンス導入・導出等の一時収益・費用、新規連結 など

■ 営業利益（億円）



主な事業		2024年度1Q vs 2023年度1Q (YoY)		2024年度上期 今回予想 vs 前回予想 (5月発表)	
医薬・医療	医薬	➡	主力製剤の順調な伸長により、増益	⬅	Calliditas買収に伴う一過性の費用やケブザラの限定出荷の影響により、下方修正
	医療	➡	プラノバの販売量の増加や円安により、増益	➡	プラノバの販売好調や円安により、上方修正
クリティカルケア	LifeVest	➡	数量の増加や円安による為替換算差の影響により、増益	➡	販管費の減少や円安による為替換算差の影響により、上方修正
	除細動器	➡	販売価格の上昇や円安による為替換算差の影響により、増益	➡	円安による為替換算差により、上方修正

(億円)

売上高	2023年度 上期			2024年度 上期予想			1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q 予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	1,294	1,371	2,665	1,458	1,472	2,930	164	12.6%	265	9.9%	2,812
医薬・医療事業	511	498	1,009	563	557	1,120	52	10.3%	111	11.1%	1,119
医薬事業	288	275	563	322	318	640	34	11.7%	77	13.7%	657
医療事業	222	223	445	241	239	480	19	8.4%	35	7.8%	462
クリティカルケア事業	783	873	1,657	894	916	1,810	111	14.2%	153	9.3%	1,693

営業利益	2023年度 上期			2024年度 上期予想			1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q 予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	96	103	198	156	121	277	60	62.4%	79	39.7%	241
医薬・医療事業	51	24	75	74	22	96	23	44.1%	21	27.6%	96
クリティカルケア事業	45	79	123	82	99	181	37	83.4%	58	47.0%	145

EBITDA	2023年度 上期			2024年度 上期予想			1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2024年度 上期前回予想 (2024年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q 予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	264	276	540	340			77	29.0%			582
医薬・医療事業	121	96	217	151			31	25.3%			240
クリティカルケア事業	143	180	323	189			46	32.1%			342

(売上高の対象地域、単位)	2023年度		2024年度	1Q 前年同期比	
	1Q	上期	1Q	増減額	増減率
<旭化成ファーマ>					
テリボン (国内、億円)	96	194	104	8	8.5%
リクラスト (")	3	6	3	0	6.9%
ケブザラ (")	26	54	28	3	10.4%
プラケニル (")	14	29	16	2	14.2%
リコモジュリン (")	20	41	17	-3	-15.0%
クレセンバ (")	2	3	6	5	266.8%
エムパベリ (")	-	1	4	4	-
<Veloxis>					
Envarsus XR (米国、百万ドル)	61	107	62	2	2.7%

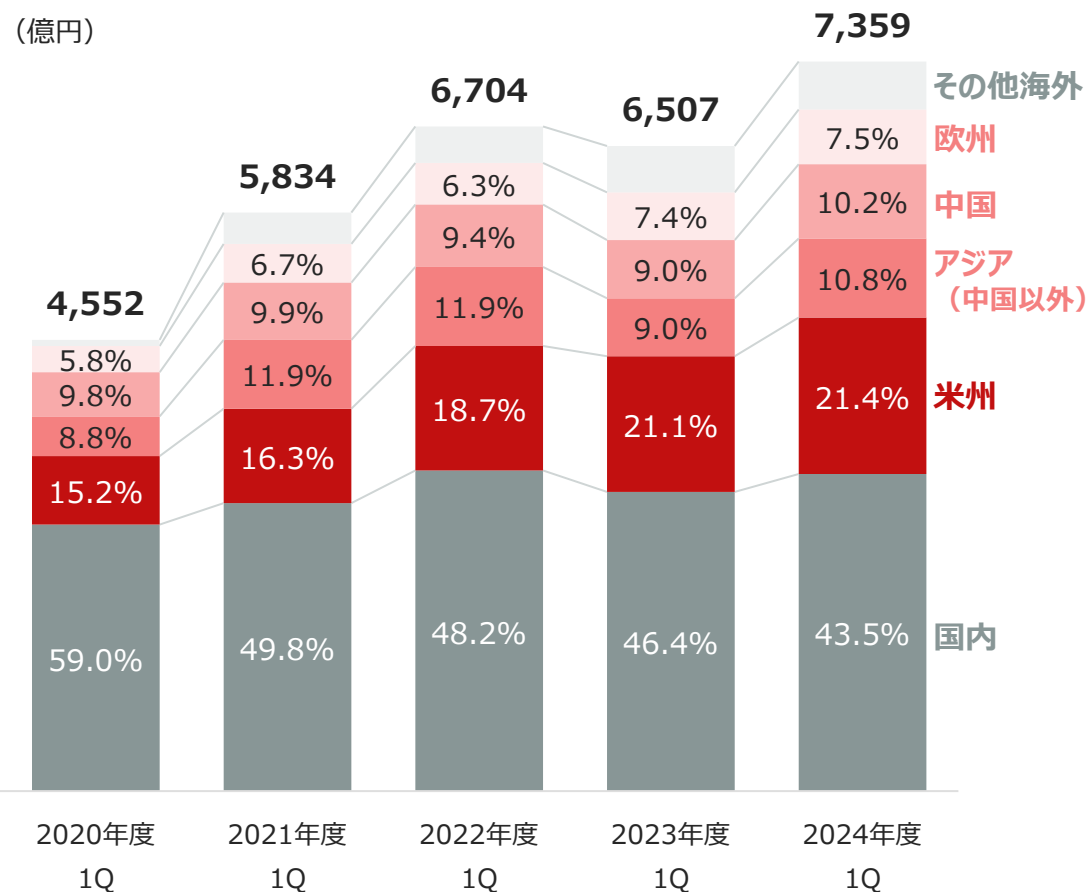
製品名	一般名	薬効・分類	適応症	剤形
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン：PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
ケブザラ	サリルマブ（遺伝子組換え）	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ（遺伝子組換え）	血液凝固阻止剤	DIC（汎発性血管内血液凝固症）	注射剤
クレセンバ	イサブコナゾニウム硫酸塩	深在性真菌症治療剤	アスペルギルス症、ムーコル症、クリプトコックス症	カプセル剤、 注射剤
エムパベリ	ペグセタコプラン皮下注製剤	補体（C3）阻害剤	発作性夜間ヘモグロビン尿症	注射剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

		開発コード（一般名）	適応症	起源	開発	備考（地域他）
国内	申請中	AK1820 (イサブコナゾニウム硫酸塩)	アスペルギルス症・ムーコル症 クリプトコックス症	導入	自社	剤形追加
	フェーズⅢ	TA799 (アプラグルチド)	短腸症候群	導入	他社	日本におけるフェーズⅠは 当社が実施
	フェーズⅡ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	効能追加 (日米共同フェーズⅠ実施中)
	フェーズⅡ	AK1830	変形性関節症に伴う疼痛	導入	自社	
	フェーズⅡ		慢性腰痛症に伴う疼痛			
	フェーズⅠ	AK1910	自己免疫疾患	導入	自社	
海外	フェーズⅢ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	凝固異常を伴う重症敗血症	自社	自社	米国・欧州他
	フェーズⅠ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	米国
	フェーズⅠ	VEL-101	臓器移植	導入	自社	米国他
導出品	フェーズⅡ	LY3857210	慢性疼痛	共同開発	他社	導出先開発中 (日中販売権は当社が保持)

4. 参考資料

前年同期比では、円安影響もあり海外売上高が上昇。なお、近年は米国における「ヘルスケア」や「住宅」のM&A等により、米州の売上高比率が増加

■ 売上高・地域構成の推移^{*1}



■ 海外売上高

	2023年度1Q <組換え後>		2024年度1Q		(億円)	
	海外売上高	海外売上高比率	海外売上高	海外売上高比率	前年同期比増減額	前年同期比増減率
マテリアルセグメント	1,826	61.5%	2,259	64.4%	432	23.7%
環境ソリューション	689	60.1%	862	58.7%	173	25.1%
モビリティ&インダストリアル	740	80.6%	876	84.1%	137	18.5%
ライフイノベーション	395	43.8%	520	52.3%	125	31.7%
マテリアル共通	2	99.2%	-0	161.5%	-2	-101.6%
住宅セグメント	631	28.6%	722	30.5%	91	14.5%
住宅	631	30.0%	722	31.9%	91	14.5%
建材	-	-	-	-	-	-
ヘルスケアセグメント	1,030	79.6%	1,175	80.6%	145	14.1%
医薬・医療	258	50.5%	291	51.7%	33	12.9%
クリティカルケア	772	98.6%	884	98.9%	112	14.5%
その他	3	9.1%	4	13.5%	1	36.2%
合 計	3,491	53.6%	4,161	56.5%	670	19.2%

*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している

四半期売上高推移

(億円)

	2021年度 ^{*1}				2022年度				2023年度<組替後>				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q予想
マテリアルセグメント	2,796	2,963	3,152	3,189	3,394	3,394	3,270	3,108	2,968	3,134	3,289	3,226	3,505	3,435
環境ソリューション事業	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,414	1,368	1,318	1,162	1,218	1,348	1,292	1,469	1,391
うち 基盤マテリアル事業	724	823	902	900	1,001	873	887	859	662	721	808	744	880	860
モビリティ&インダストリアル事業	754	765	807	896	925	997	940	923	901	943	941	962	1,042	1,048
ライフイノベーション事業	850	905	971	919	969	983	960	865	903	973	1,000	972	994	996
うち デジタルソリューション事業	286	306	313	309	342	323	299	261	294	317	331	343	357	353
マテリアル共通	0	3	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	-0	0
住宅セグメント	1,951	1,979	2,183	2,112	2,066	2,138	2,301	2,484	2,211	2,416	2,400	2,517	2,365	2,705
住宅	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	2,035	2,195	2,388	2,105	2,302	2,295	2,427	2,264	2,596
建材	79	93	98	90	92	103	107	96	106	114	105	90	101	109
ヘルスケアセグメント	1,058	1,001	1,070	1,030	1,214	1,241	1,286	1,228	1,294	1,371	1,455	1,417	1,458	1,472
医薬・医療	428	426	468	421	505	485	545	468	511	498	564	512	563	557
クリティカルケア	630	575	603	609	710	756	741	760	783	873	892	906	894	916
その他	30	33	32	35	30	35	34	41	34	31	38	46	32	38
合 計	5,834	5,976	6,437	6,366	6,704	6,808	6,892	6,861	6,507	6,952	7,182	7,207	7,359	7,651

*1 2021年度の実績について、2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している

四半期営業利益推移

(億円)

	2021年度 ^{*1}				2022年度				2023年度＜組替後＞				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q ^{*2}	4Q ^{*2}	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q予想
マテリアルセグメント	311	275	298	176	268	139	81	-77	76	101	130	118	266	152
環境ソリューション事業	143	145	138	62	102	24	-26	-122	-7	-9	22	17	99	42
うち 基盤マテリアル事業	82	108	100	64	83	12	-42	-85	-51	-29	-3	0	61	33
モビリティ&インダストリアル事業	82	50	54	71	52	39	5	12	30	37	14	45	56	39
ライフイノベーション事業	102	89	108	49	121	75	77	6	45	72	98	69	124	84
うち デジタルソリューション事業	43	46	46	34	67	38	32	5	20	33	40	33	62	43
マテリアル共通	-16	-11	-2	-6	-6	1	25	27	8	2	-4	-12	-12	-14
住宅セグメント	151	181	223	173	153	183	185	233	134	219	219	257	170	262
住宅	147	173	213	173	150	179	179	231	125	202	212	256	165	249
建材	4	8	10	0	3	4	6	1	9	17	7	1	5	13
ヘルスケアセグメント	205	138	159	20	148	110	114	46	96	103	158	129	156	121
医薬・医療	76	59	90	-7	100	45	79	5	51	24	80	34	74	22
クリティカルケア	129	78	69	27	48	65	35	41	45	79	78	95	82	99
その他	5	12	9	15	6	12	8	17	6	10	6	9	2	6
消去又は全社	-67	-79	-80	-98	-81	-79	-86	-102	-94	-92	-87	-91	-95	-90
合 計	605	526	609	286	494	364	303	117	218	341	426	422	499	451

*1 2021年度の実績について、2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

(参考) 事業区分

セグメント	サブセグメント	主な事業
マテリアル	環境ソリューション	セパレータ
		膜・システム
		合成ゴム・エラストマー
		基盤マテリアル 石化関連事業
	モビリティ&インダストリアル	自動車内装材
		エンジニアリング樹脂
		機能性コーティング
	ライフイノベーション	デジタル 電子材料
		ソリューション 電子部品
		コンフォート 高機能マテリアル（添加剤他）
		ライフ 繊維（衣料用途他）
住宅	住宅	消費財
		建築請負（戸建・集合）
		不動産（分譲マンション・賃貸管理）
		リフォーム
		海外住宅（北米・豪州）
ヘルスケア	建材	建材
	医薬・医療	医薬（医療用医薬品）
		医療（バイオプロセス・血液浄化）
	クリティカルケア	除細動器
		LifeVest（着用型自動除細動器）

- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない
- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）

＜お知らせ＞

**2024年度第2四半期決算
決算発表予定日**

2024年11月1日（金）



AsahiKASEI

Creating for Tomorrow